

チョウのからだ

監修 教育普及課 / 企画・制作 動物解説員

※ チョウを さわったり つかまえたりしないでね！

ねん
年

がつ
月

にち
日

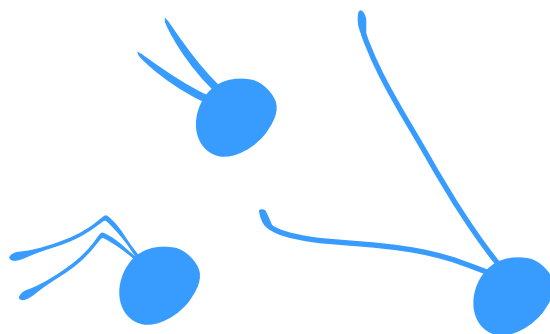
チョウをよく^み見て、○をつけよう！

^{こんちゅうせいたいえん} ^{だいおんしつ} ^み
*昆虫生態園の大温室で見てね

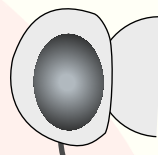
はねは、なんまい？

2 まい 4 まい 6 まい

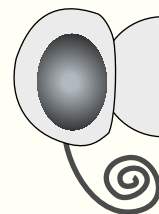
しよつかくは、どれ？



^{やす} ^{くち}
休んでいるときの口は、どっち？

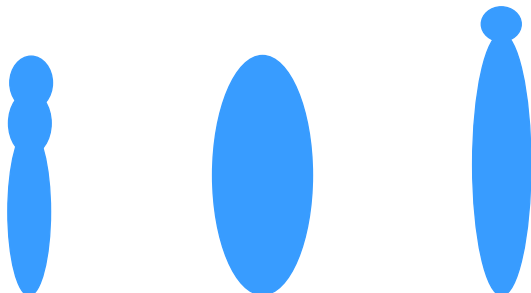


のばしている



まるめている

^{からだ} ^{かたち}
体の形は、どれ？



あしは、なん^{ほん}本？

2 ^{ほん}本

4 ^{ほん}本

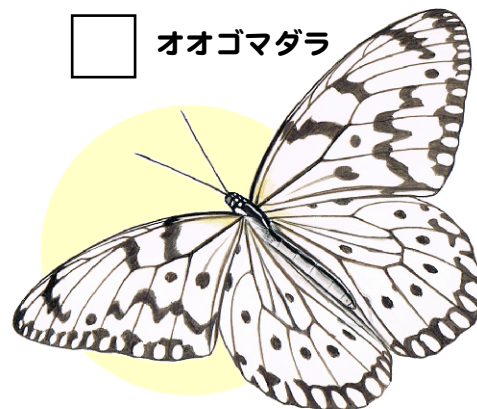
6 ^{ほん}本

○は1つではないかも！

うらにも、あるよ！

み
見つけたチョウに ☒ をしよう！

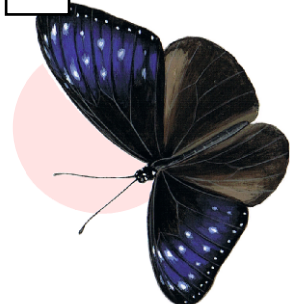
☐ オオゴマダラ



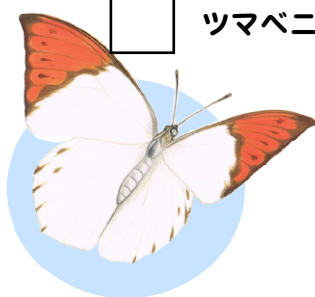
☐ タイワンキチョウ



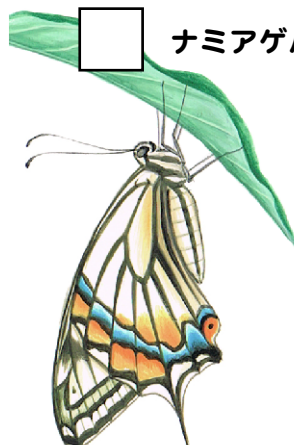
☐ ツマムラサキマダラ



☐ ツマベニチョウ



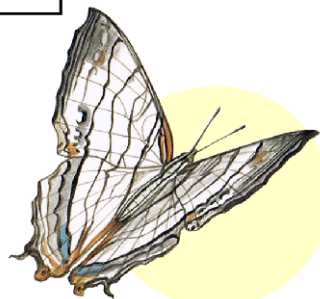
☐ ナミアゲハ



☐ タテハモドキ



☐ イシガケチョウ



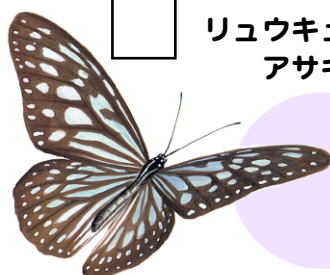
！
季節によっては、
いなくなる種類が
あります。

☐ アサギマダラ



絵 工藤晃司

☐ リュウキュウ
アサギマダラ



☐ カバタテハ



かわったはねのチョウを、さがしてみよう！

み
見つけたら、なんの種類か、かんぱんでたしかめましょう。

ひら
はねを開いたときとじたときで、
いろ
色やもようがちがうチョウ

ひ
はねに日があたると、
ひか
はねが光っているように見えるチョウ

チョウのからだ < 解説 >

監修 教育普及課 / 企画・制作 動物解説員

チョウ (チョウ目)

幼虫のときは葉を食べてそだちますが、成虫になると花のみつや樹液をすいます。成虫は明るい日中に活動する種類が多く、ひらひらと特ちょう的な飛び方をします。昆虫生態園の大温室では、チョウの自然な動きをまじかに見られるので、体のつくりを動きと関連させながら観察することができます。

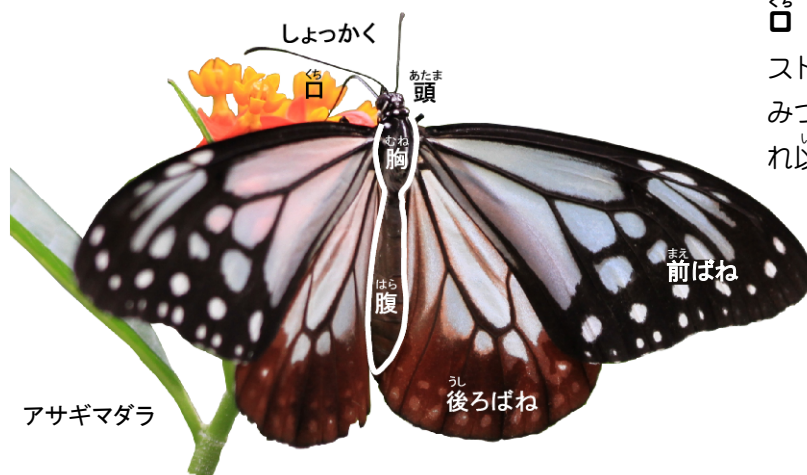
チョウの体

体の形

頭、胸、腹の3つの部分に
くびれています。頭には、
目、口、しよっかくがあり
ます。胸には、あしとはね
が、ついています。

しよっかく

先がふくらんだ細くて長い
2本のしよっかくが、ほぼ
まっすぐにのびています。
においや音を感じするすぐ
れたセンサーです。



アサギマダラ

はね

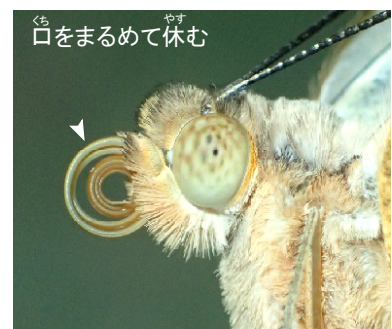
前ばねが2枚、後ろばねが2枚、合計4枚のはねがあります。
はねの表面には、鱗粉というさまざまな色の小さな平たい粉が
ならび、はねの色や模様を現しています。



スジグロカバマダラ

口

ストローのようにくだになっています。
みつや水などをすうときはのばし、そ
れ以外は、まるめています。



ツマベニチョウ



ナミアゲハ

あし

あしの先にはかぎづめがあり、植物
などの表面にうまく止まります。前
あし、中あし、後ろあしがそれぞれ
1対、合計6本あります。ただし、
オオゴマダラなどタテハチョウ科の
仲間は、前あしが小さく退化して
おり、4本しかないように見えます。



オオゴマダラ

はね の 色ともよう

種類ごとに特ちょうのあるはねの色やもようは、飛びながら同じ種類の異性を見つけたり、休む時に敵から身をかくしたりするのに役立ちます。



オオゴマダラ

開いてもとじても同じような色

飛んでいるときも、休んでいるときも、いつも同じような色（もよう）が見えています。どのような姿勢や動きをしていても、種類がはっきりわかります。



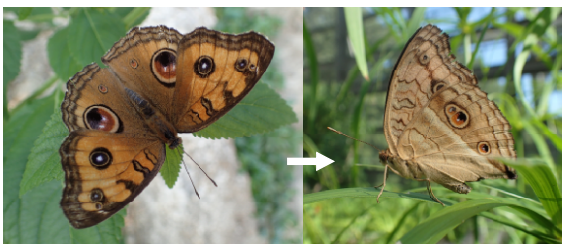
アサギマダラ

開くとめだつ色、とじると地味な色

開いたときのめだつ色は、同じ種類の仲間にしらせるサインです。とじたときの地味な色は、敵から身を守る保護色です。開くときれいなツマベニチョウも、はねをとじると枯れ葉にそっくりです。反対に、とじると派手、開くと地味になるチョウは、あまりいないようです。



ツマベニチョウ



タテハモドキ

オスとメスで色やもようがちがうチョウ

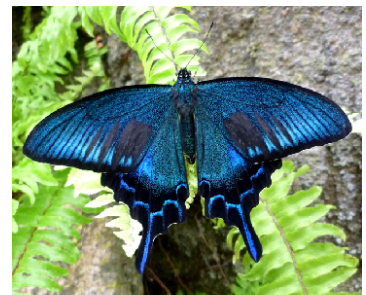
ちがいの程度は、種類によって異なります。ツマムラサキマダラ、ツマベニチョウなどは、比較的わかりやすく、明るい色のほうがオス、地味なほうがメスです。



ツマムラサキマダラ

光るような色

カラスアゲハやツマムラサキマダラなどは、はねに白があたり、特べつな鱗粉が光を反射させて、光って見えます。構造色と呼ばれる色です。



カラスアゲハ

自由研究のすすめ

いろいろなチョウをくらべてみよう

はねの色でチョウの種類がわかるようになったら、いろいろな種類をくらべてみましょう。よくいる場所、休むときのしせい、飛びかた、よく止まる花の色など、種類ごとにちがいます。しぐさを見ながらくると、はねの色やもようの役割がもっとよくわかるでしょう。